iFree レバレッジ S & P 500

運用報告書（全体版）
第 8 期
（決算日　2026年 8 月31日）
（作成対象期間　2025年 9 月 2 日～2026年 8 月31日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）		
信託期間	無期限（設定日：2018年 8 月31日）		
運用方針	日々の基準価額の値動きがＳ＆Ｐ500指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	米国の株価指数先物取引、米国の債券、わが国の債券およびダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券。なお、米国の金融商品取引所上場株式およびＥＴＦ（上場投資信託証券）に投資する場合があります。	
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10％以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

◇TUZ0337120260831◇

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがＳ＆Ｐ500指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<3371>

最近5期の運用実績

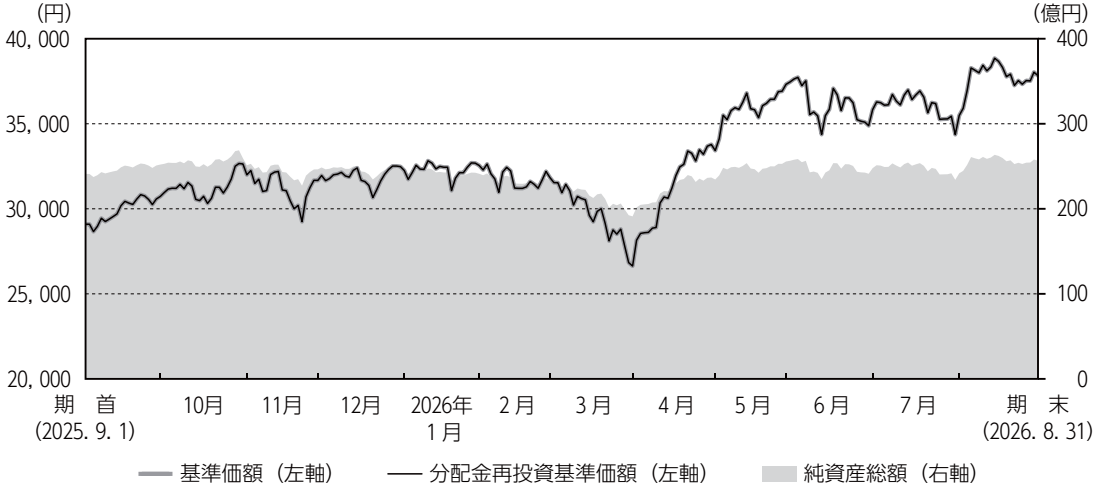
決算期	基準価額			S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）		株式組入比率	株式先物比率	公社債組入比率	債券先物比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率						
	円	円	%		%	%	%	%	%	%	百万円
4期末（2022年8月30日）	16,097	0	△ 23.3	14,585	△ 9.7	—	200.4	—	—	—	19,222
5期末（2023年8月30日）	17,843	0	10.8	16,470	12.9	—	200.0	—	—	—	25,248
6期末（2024年8月30日）	24,460	0	37.1	20,690	25.6	—	198.4	36.8	—	—	22,338
7期末（2025年9月1日）	29,093	0	18.9	24,125	16.6	—	200.2	37.1	—	—	24,113
8期末（2026年8月31日）	37,825	0	30.0	29,035	20.4	—	199.8	32.7	—	—	25,661

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注5）組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）先物比率は買建比率－売建比率です。
（注7）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

S & P 500指数（「当インデックス」）はS & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® およびCDX® は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはS P D J Iに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：29,093円
期　末：37,825円（分配金 0 円）
騰落率：30.0%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きがＳ＆Ｐ500指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざした運用を行った結果、米国株式市況が上昇したことにより、当ファンドの基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年　月　日	基　準　価　額		S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式組入比率	株式先物比率	公社債組入比率	債券先物比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率					
	円	%		%	%	%	%	%	%
(期首) 2025年9月1日	29,093	—	24,125	—	—	200.2	37.1	—	—
9月末	30,728	5.6	24,893	3.2	—	199.3	24.3	—	—
10月末	31,996	10.0	25,508	5.7	—	200.0	41.8	—	—
11月末	31,672	8.9	25,493	5.7	—	200.5	31.5	—	—
12月末	32,254	10.9	25,861	7.2	—	200.5	32.2	—	—
2026年1月末	32,547	11.9	26,114	8.2	—	200.7	32.8	—	—
2月末	31,832	9.4	25,907	7.4	—	199.3	24.8	—	—
3月末	26,637	△ 8.4	23,808	△ 1.3	—	199.9	32.2	—	—
4月末	33,426	14.9	26,794	11.1	—	199.9	31.4	—	—
5月末	37,321	28.3	28,422	17.8	—	199.9	37.4	—	—
6月末	35,827	23.1	27,980	16.0	—	200.5	40.7	—	—
7月末	35,485	22.0	27,983	16.0	—	201.5	49.4	—	—
(期末) 2026年8月31日	37,825	30.0	29,035	20.4	—	199.8	32.7	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2025. 9. 2 ～ 2026. 8. 31）

■米国株式市況

米国株式市況は、大幅に上昇し、史上最高値を更新しました。

米国株式市況は、当作成期首より、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利下げや対中貿易交渉の進展が好感されて上昇し、さらに成長期待が高まったＡＩ（人工知能）・半導体関連株が上昇をけん引しました。2025年11月には、政府機関の一部閉鎖の影響が懸念されて下落しましたが、同月下旬には、利下げ観測が再び高まったことが好感され、反発しました。12月は、ＦＲＢによる利下げ決定や流動性供給の開始、半導体関連企業の好業績などが好感され、上昇しました。2026年１月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「ＡＩ脅威論」による情報サービス・ソフトウエア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などもあり、おおむね横ばいで推移しました。３月には米国とイスラエルによるイランへの軍事作戦の開始やイランによるホルムズ海峡の封鎖で大幅に下落しましたが、４月以降はＡＩ・半導体関連株の集中物色で急反発し、史上最高値を更新しました。６月以降は、イランとの一時的な和平合意が成立してホルムズ海峡の通航状況が改善したことが好感された一方で、スペースＸの史上最大規模の資金調達による需給悪化や大手ＩＴ（情報技術）企業の過剰投資懸念などが上値を抑える中、日々の変動は大きくなりましたが方向感はなく、おおむね横ばいで推移しました。７月下旬以降は、大手ＩＴ企業の決算発表で過剰投資懸念が和らいだことや中東和平交渉の進展期待などから再び史上最高値を更新し、そのまま高値圏で当作成期末を迎えました。

■国内短期金融市況

日銀による政策金利の引上げを受けて、短期金利は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として、米国の債券、わが国の債券および「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の受益証券に投資するとともに、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがＳ＆Ｐ500指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの２倍程度となることをめざします。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて （2025. 9. 2 ～ 2026. 8. 31）

■当ファンド

米国の株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、純資産総額の 2 倍程度となるよう調整しました。また、「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の受益証券への投資も行いました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

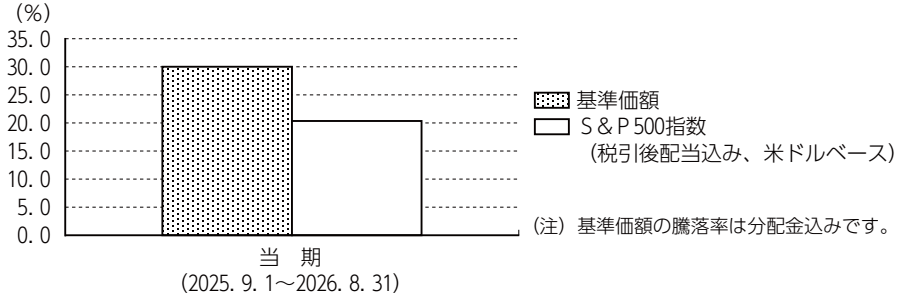
米国の株価指数先物取引については、Ｅ－ｍｉｎｉ　Ｓ＆Ｐ500株価指数先物取引を利用しました。米国の株式への直接投資は行っておりません。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目			当期 2025年9月2日 ～2026年8月31日
当期分配金（税込み）		**（円）**	**—**
	対基準価額比率	（%）	—
	当期の収益	（円）	—
	当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額		（円）	27,825

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として、米国の債券、わが国の債券および「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の受益証券に投資するとともに、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがS & P500指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざします。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

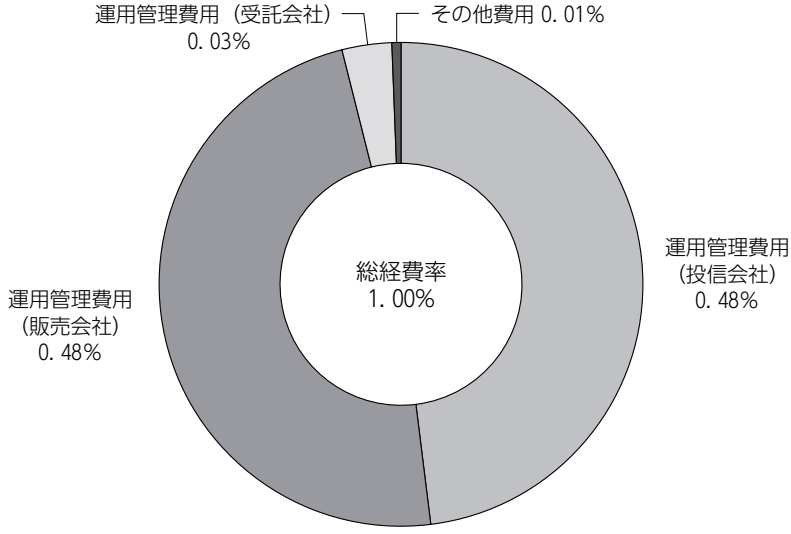
項　　目	当　期 (2025. 9. 2～2026. 8. 31)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	326円	0. 987%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は32, 983円です。**
（投 信 会 社）	(157)	(0. 477)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(157)	(0. 477)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(11)	(0. 033)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0. 014	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(4)	(0. 014)	
有価証券取引税	―	―	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 006	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(2)	(0. 006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	332	1. 007	

（注 1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注 2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注 3）各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
（注 4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.00%です。



（注1）1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年 9 月 2 日から2026年 8 月31日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	13,894,028	13,975,060	16,650,864	16,739,228

(注) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引・残高状況

(2025年 9 月 2 日から2026年 8 月31日まで)

銘柄別			買建		売建		当作成期末評価額		
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
			百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
外国	株式	S&P500 EMINI FUT (アメリカ)	232,756	240,608	—	—	51,280	—	1,569

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年 9 月 2 日から2026年 8 月31日まで)

決算期	当期						
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	507,308	13,574	2.7	—	—	—
コール・ローン	17,756,177	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合6.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	14,846,206	12,089,370	12,207,846

(注) 単位未満は切捨て。

＊同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 8 月31日現在

項　　目	当　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	12, 207, 846	46. 9
コール・ローン等、その他	13, 801, 026	53. 1
投資信託財産総額	26, 008, 872	100. 0

（注 1）評価額の単位未満は切捨て。
（注 2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、 8 月31日における邦貨換算レートは、 1 アメリカ・ドル＝160. 02円です。
（注 3）当期末における外貨建純資産（7, 838, 139千円）の投資信託財産総額（26, 008, 872千円）に対する比率は、30. 1％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 8 月31日現在

項　　目	当　期　末
（A）資産	**33, 661, 931, 878円**
コール・ローン等	5, 955, 480, 196
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	12, 207, 846, 218
未収入金	9, 230, 451, 283
差入委託証拠金	6, 268, 154, 181
（B）負債	**8, 000, 112, 894**
未払金	7, 875, 825, 331
未払解約金	5, 226, 343
未払信託報酬	118, 400, 024
その他未払費用	661, 196
（C）純資産総額（A－B）	**25, 661, 818, 984**
元本	6, 784, 311, 329
次期繰越損益金	18, 877, 507, 655
（D）受益権総口数	**6, 784, 311, 329口**
1万口当り基準価額（C／D）	**37, 825円**

＊期首における元本額は8, 288, 584, 097円、当作成期間中における追加設定元本額は1, 741, 327, 586円、同解約元本額は3, 245, 600, 354円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は37, 825円です。

■損益の状況

当期　自2025年 9 月 2 日　至2026年 8 月31日

項　　目		当　　期
（A）配当等収益		**228, 982, 821円**
受取利息		35, 082, 655
その他収益金		193, 900, 166
（B）有価証券売買損益	△	**409, 745, 599**
売買益		879, 596, 527
売買損	△	1, 289, 342, 126
（C）先物取引等損益		**5, 833, 238, 669**
取引益		8, 051, 933, 469
取引損	△	2, 218, 694, 800
（D）信託報酬等	△	**240, 681, 259**
（E）当期損益金（A＋B＋C＋D）		**5, 411, 794, 632**
（F）前期繰越損益金		**4, 547, 625, 019**
（G）追加信託差損益金		**8, 918, 088, 004**
（配当等相当額）	(	6, 837, 340, 902)
（売買損益相当額）	(	2, 080, 747, 102)
（H）合計（E＋F＋G）		**18, 877, 507, 655**
次期繰越損益金（H）		**18, 877, 507, 655**
追加信託差損益金		8, 918, 088, 004
（配当等相当額）	(	6, 837, 340, 902)
（売買損益相当額）	(	2, 080, 747, 102)
分配準備積立金		9, 959, 419, 651

（注 1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注 2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注 3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
（注 4）投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：25, 372, 153円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　　期
（a）経費控除後の配当等収益	219, 235, 230円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	5, 192, 559, 402
（c）収益調整金	8, 918, 088, 004
（d）分配準備積立金	4, 547, 625, 019
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	18, 877, 507, 655
（f）分配金	0
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	18, 877, 507, 655
（h）受益権総口数	6, 784, 311, 329口

＜補足情報＞

当ファンド（iFree レバレッジ S＆P500）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2025年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2026年８月31日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2025年９月２日から2026年８月31日まで）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
1400国庫短期証券 2026/11/16	74,198,683		
1359国庫短期証券 2026/5/7	60,183,564		
1378国庫短期証券 2026/8/3	58,383,000		
1399国庫短期証券 2026/11/9	42,787,988		
1343国庫短期証券 2026/2/16	40,949,406		
1362国庫短期証券 2026/5/18	38,927,197		
1381国庫短期証券 2026/8/17	38,715,998		
1380国庫短期証券 2026/8/10	37,520,588		
1337国庫短期証券 2026/1/19	32,658,667		
1340国庫短期証券 2026/2/2	30,962,304		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2026年８月31日現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンド（168,546,919千口）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	2026年８月31日現在						
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	117,300,000	117,042,597	68.8	—	—	—	68.8

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注３）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2026年 8 月31日現在						
区　　分		銘　　柄	年　利　率	額 面 金 額	評　価　額	償還年月日
			%	千円	千円	
国債証券		1399国庫短期証券	—	42, 900, 000	42, 813, 837	2026/11/09
		1400国庫短期証券	—	74, 400, 000	74, 228, 760	2026/11/16
合　計	銘柄数	2銘柄				
	金　額			117, 300, 000	117, 042, 597	

（注）単位未満は切捨て。

＊同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書　第16期（決算日　2025年12月９日）

（作成対象期間　2024年12月10日～2025年12月９日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

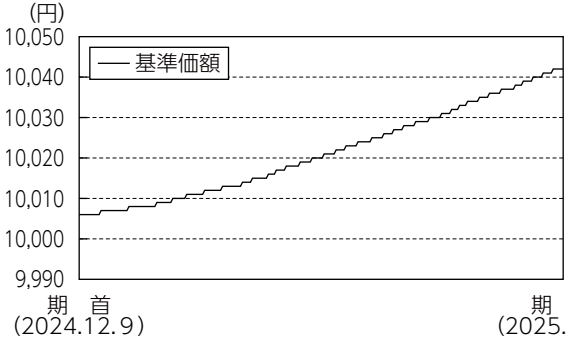
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2024年12月9日	10,006	−	56.2
12月末	10,007	0.0	69.8
2025年 1 月末	10,008	0.0	69.8
2 月末	10,010	0.0	60.8
3 月末	10,013	0.1	60.0
4 月末	10,015	0.1	51.4
5 月末	10,019	0.1	59.8
6 月末	10,023	0.2	59.4
7 月末	10,026	0.2	59.1
8 月末	10,030	0.2	60.1
9 月末	10,034	0.3	55.1
10月末	10,037	0.3	70.5
11月末	10,041	0.3	72.9
(期末)2025年12月9日	10,042	0.4	64.7

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,006円　期末：10,042円　騰落率：0.4%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	−円
有価証券取引税	−
その他費用	−
合計	−

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	460,355,293	32,086,550 (430,600,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
1277国庫短期証券 2025/3/31	43,884,327	1231国庫短期証券 2025/5/20	32,086,550
1324国庫短期証券 2025/11/10	42,456,310		
1305国庫短期証券 2025/8/12	42,359,507		
1343国庫短期証券 2026/2/16	40,949,406		
1296国庫短期証券 2025/6/30	35,369,131		
1337国庫短期証券 2026/1/19	32,658,667		
1340国庫短期証券 2026/2/2	30,962,304		
1341国庫短期証券 2026/2/9	28,066,195		
1322国庫短期証券 2025/11/4	27,971,020		
1303国庫短期証券 2025/8/4	26,054,513		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当期末						
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	132,800,000	132,703,244	64.7	−	−	−	64.7

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注３）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区分	銘柄	当期末			
		年利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	1337国庫短期証券	−	32,700,000	32,682,529	2026/01/19
	1340国庫短期証券	−	31,000,000	30,977,943	2026/02/02
	1341国庫短期証券	−	28,100,000	28,078,393	2026/02/09
	1343国庫短期証券	−	41,000,000	40,964,377	2026/02/16
合計 銘柄数	4銘柄				
合計 金額			132,800,000	132,703,244	

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月９日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	132,703,244	64.7
コール・ローン等、その他	72,294,456	35.3
投資信託財産総額	204,997,700	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月９日現在

項目	当期末
(A) 資産	**204,997,700,368円**
コール・ローン等	72,294,456,353
公社債(評価額)	132,703,244,015
(B) 負債	**−**
(C) 純資産総額(A − B)	**204,997,700,368**
元本	204,130,644,571
次期繰越損益金	867,055,797
(D) 受益権総口数	**204,130,644,571口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,042円**

＊期首における元本額は239,423,796,545円、当作成期間中における追加設定元本額は443,018,350,908円、同解約元本額は478,311,502,882円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド　−ロボテック−	1,268円
ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド　−インドの匠−	1,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジなし）	998円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド　−ロボテック−（為替ヘッジあり）	1,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）−ロボテック（年１回）−（為替ヘッジあり）	1,985円
ｉＦｒｅｅレバレッジ　Ｓ＆Ｐ500	10,594,492,058円
ｉＦｒｅｅレバレッジ　ＮＡＳＤＡＱ100	131,022,793,738円
クリーンテック株式ファンド（資産成長型）	1,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド　−ロボテック−（毎月決算／予想分配金提示型）	999円
世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）	1,501円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　日経平均レバレッジ・インデックス	5,075,253,288円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　日経平均ダブルインバース・インデックス	4,076,800,989円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数	1,788,504,305円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　ＴＯＰＩＸダブルインバース（−２倍）指数	640,407,643円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　日経平均インバース・インデックス	5,059,702,292円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　ＴＯＰＩＸインバース（−１倍）指数	7,911,533,868円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　ＪＰＸ日経400ダブルインバース・インデックス	79,873,923円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　Ｓ＆Ｐ500レバレッジ	977,167,177円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　Ｓ＆Ｐ500インバース	2,285,058,968円
ダイワ日本国債15−20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　−ＳＬトレード−	5,039,566円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ６	19,300,063,267円
ブル３倍日本株ポートフォリオ６	11,789,858,577円
ベア２倍日本株ポートフォリオ６	3,512,508,363円
ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	11,569,330円
ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド	1,148円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）　−ロボテック（年1回）−	1,588円
ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	1,813円

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,042円です。

■損益の状況

当期　自2024年12月10日　至2025年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**705,454,602円**
受取利息	705,454,602
(B) 有価証券売買損益	**△ 7,808,839**
売買益	837
売買損	△ 7,809,676
(C) 当期損益金(A＋B)	**697,645,763**
(D) 前期繰越損益金	**138,942,634**
(E) 解約差損益金	**△960,649,455**
(F) 追加信託差損益金	**991,116,855**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**867,055,797**
次期繰越損益金(G)	**867,055,797**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年４月１日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。